

2025 年度入学 AO・学内AO入学試験(3 期) 小論文課題

千葉商科大学大学院
会計ファイナンス研究科

次の 3 つの課題(I、II、III)から 1 題を選んで解答しなさい。

I 「会計に関する課題」

以下の問題 A か問題 B のいずれかを選択して解答しなさい。なお、問題 A と B のどちらを選択したか冒頭に必ず明示すること。

問題 A

別添の資料 1「株式会社の会計」を読んで、次の問に答えてください。

1. アダム・スミスが、株式会社については否定的であった理由を述べてください。
2. 経営者は出資者にどのような約束をするのでしょうか、述べてください。
3. 良い経営者とはどのような経営者なのでしょうか。思うところを述べてください。
4. 「資本と利益の峻別」が、会社会計において求められる理由を述べてください。

問題 B

街中で見かける工事現場で「A 社・B 社・C 社共同事業体」のような特定建設工事共同体企業は建設プロジェクトが終了した際に解散する前提の組織です。

これに対して一般事業会社は「会計公準」の中の「継続企業の公準」に示されるように企業の経済活動は継続され、解散しない仮定に基づくとされています。そして、会計期間を設けて期間損益計算を実施して貸借対照表、損益計算書等を開示することが当該企業の経営者や投資家や債権者のために重要とされています。

1. 期間損益計算が投資家や債権者のために重要と言われる理由を述べなさい。
2. 期間損益計算のために行われていると思われる会計処理を例示しその内容を説明しなさい。

【次ページに続く】

II 「法律(税法・会社法・その他関連法)に関する課題」

所得税法では、所得を 10 種類に区分してそれぞれ所得の金額を計算する仕組みとなっているが、その理由は何であると考えられるかについて、具体的な所得区分の例も挙げて説明しなさい。

III 「ファイナンス・その他時事問題に関する課題」

別添の資料 2 は、2024 年 10 月の最低賃金引上げに関する新聞記事です。

国や地方は最低賃金の引上げに積極的な一方で、企業はやや慎重な姿勢である。

最低賃金の引上げに関する以下の設問にすべて答えてください。

この課題は、出題テーマに関する知識を尋ねるものではなく、回答者が自身の考えを相手に伝えることができるかをみております。よって、論理的かつ具体的、詳細に記述ください。箇条書きを望みます。

1. 雇用する企業側のメリット
2. 雇用する企業側のデメリット
3. 「2」のデメリットを軽減する企業・行政による対策案

※別添資料は、著作権保護された素材（新聞記事等）を含むため、
掲載しておりません。